

科学者、法学者、政治学者、科学教育の第一線で活躍している方々によるセミナーと、
多様な観点から科学と社会の関係について議論をするワークショップを行います。

2013 2/16 (土)・17 (日)

京都大学 時計台記念館 会議室Ⅱ,Ⅲ

ワークショップ

科学の不定性と社会

— 法、技術、教育

プログラム (予定)

1日目

「趣旨説明を兼ねて (科学の不定性について)」

平田光司 (総合研究大学院大学学), 本堂毅 (東北大学)

「裁かれた科学者たち: ラクイラ地震裁判で問われたこと」

瀬藤一起 (東京大学地震研究所)

「科学的不定性と法: 科学に欠けていること, 法に欠けていること」

渡辺千原 (立命館大学法学部)

「法科学と教育: 専門知の理解と利用のために」

「科学の不定性と政策決定: 政治学・行政学の視点から」

尾内隆之 (流通経済大学法学部)

「信頼の危機と理科教育」 笠潤平 (香川大学教育)

岡本正志 (京都教育大学) 話題提供 (タイトル未定)

谷口和成 (京都教育大学) 話題提供 (タイトル未定)

「東北大学における理科実験プログラム—文科系のための自然科学総合実験—」

関根勉 (高等教育開発推進センター)

2日目

「社会と科学技術: 市民の主体的判断を可能にするための科学リテラシー・科学教育とは何か (仮)」

平川秀幸 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)

科学教育若手研メンバー等からの話題提供

科学教育の未来

インフォーマル・セッション (オーガナイザー: 小林泰三)

●主催

JST-RISTEX「科学技術と社会の相互作用」領域・研究プロジェクト「不確実な科学的状況での法的意思決定」科学グループ

●とき

2月16日 (土): 11時~19時10分

2月17日 (日): 9時30分~13時 (希望者は14時~18時までインフォーマルセッション)

●場所

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学 時計台記念館 (京都大学本部構内正門正面) 会議室Ⅱ,Ⅲ

●参加方法

要お申込み (定員最大45名 先着順) どなたでもご参加いただけます。

●お問い合わせ・お申込み方法については、ワークショップ事務局まで。

でんわ: 022-795-5823 FAX: 022-795-5831

メール: sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学大学院理学研究科 本堂研究室内 ワークショップ事務局

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/0216/index.html>